

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名 北
学校名 大阪市立大淀小学校
学校長名 柴田 清志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大淀小学校では、第6学年 92名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率においては、国語科・算数科ともに全国平均、大阪府平均、大阪市平均を上回った。国語科においては全国平均よりも2.8ポイント、大阪市平均よりも3ポイント上回った。算数科においては全国平均よりも7.5ポイント、大阪市平均よりも8ポイント上回った。平均無回答率は全国平均よりも国語科においては0.3ポイント低い値であり、算数科においては同等であった。質問紙調査では、学校として注力してきた内容については、概ね肯定的な回答であった。特に自己肯定感に関する質問では、肯定的な回答をする児童が全国平均を1.9ポイント下回ったものの、強く肯定する児童は50%に達し、全国平均を7.4ポイント上回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語]

「（1）言葉の特徴や使い方に関する事項」「A話すこと・聞くこと」「C読むこと」に関しては、全国平均を上回る結果となった。しかし、「思考力・判断力・表現力」の「B書くこと」に関しては全国平均を8.2ポイント、大阪市平均を5.7ポイント下回った。図表やグラフなどを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題である。自分の考えを形成する「思考力」や「判断力」、その考え方の根拠となる資料等を読み取る「読み解力」、そして文章に表す「表現力」の育成が必要であると考える。

[算数]

すべての領域、すべての問題において全国平均・大阪市平均を上回った。特にD領域「データの活用」に関しては、全国平均よりも10.7ポイント上回り、これまでの習熟度別学習等の成果が表れてきていると考える。

質問紙調査より

「自分には、よいところがあると思いますか」の問い合わせに対し、「当てはまる」と答えた児童が50.0ポイント、「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童が37.8ポイントと、昨年度に引き続き今年度も高い結果となった。今後も児童が自分自身に自信をもち、人やものを大切にすることができるよう、継続して指導を続けていく。「学校に行くのは楽しいですか」の問い合わせに対して、肯定的に答えた児童は93.9ポイントであり、昨年度より16.9ポイントも伸びる結果となった。また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」の問い合わせに対して肯定的に答えた児童は96ポイントもあり、全教職員が一人ひとりの児童に寄り添い、丁寧に対応してきた結果が表れていると考える。

今後の取組(アクションプラン)

- ・習熟度別指導を計画的に行い、個に応じた指導を継続して行う。
- ・今後も、研究教科の体育科を中心に、教員の指導力向上に努める。
- ・児童の基礎学力を定着させ、児童が主体的に学ぶことができるよう指導を進める。
- ・スマールステップで取り組み、「できた」「分かった」という成功体験を積み重ね、学ぶ楽しさを味わわせるとともに、粘り強く取り組むことができるようとする。
- ・日常的に授業でICT機器を活用していく。
- ・読書週間や図書委員会の取り組みを推進し、進んで本を読もうとする児童を育てる。

【 全体の概要 】

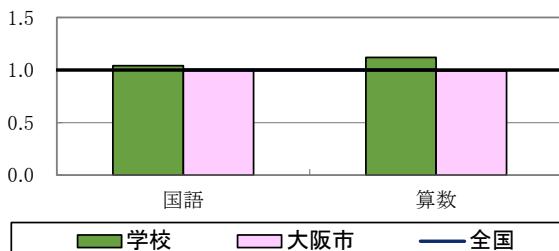
平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	70	70
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

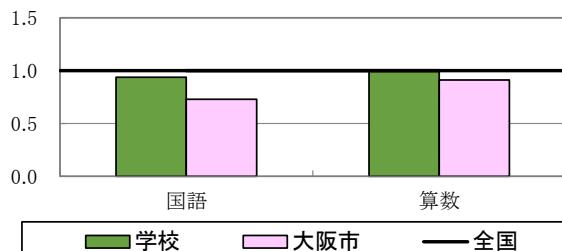
平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	4.5	3.4
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



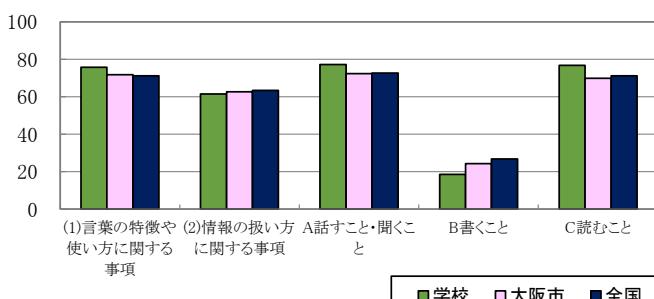
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	5	75.7	71.7	71.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	61.4	62.6	63.4
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	77.2	72.4	72.6
B 書くこと	1	18.5	24.2	26.7
C 読むこと	3	76.8	69.9	71.2

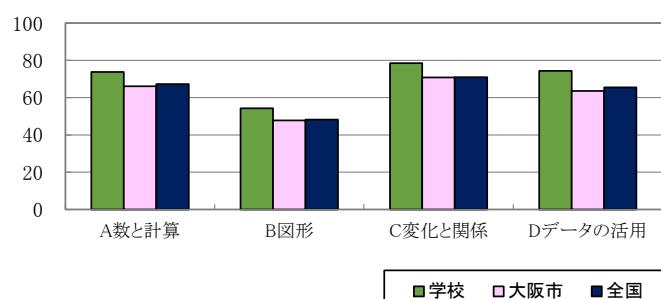
【 算 数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	73.7	66.1	67.3
B 図形	4	54.3	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	78.5	70.8	70.9
D データの活用	3	74.3	63.6	65.5

国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



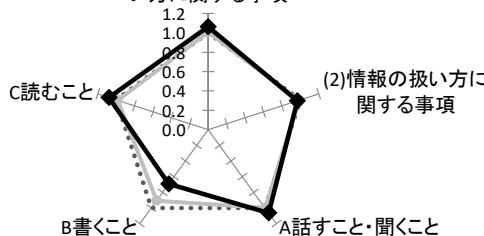
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)

(1)言葉の特徴や使い方に関する事項

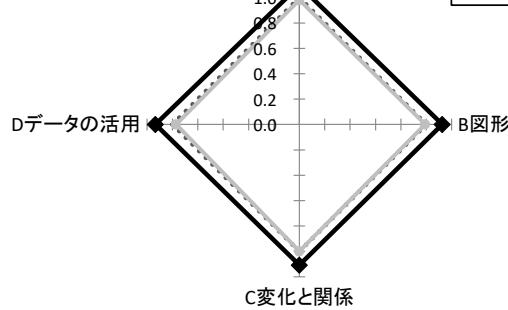
..... 全国
— 大阪市
— 学校



算数 領域別正答率(対全国比)

A数と計算

..... 全国
— 大阪市
— 学校



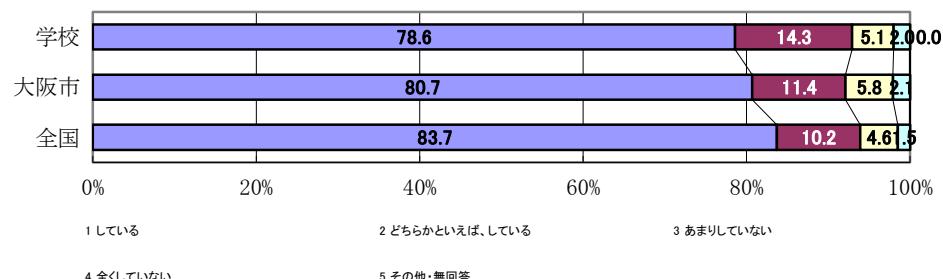
児童質問紙より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

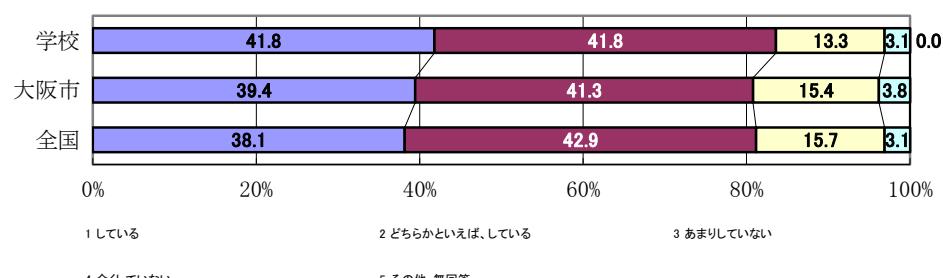
1

朝食を毎日食べている



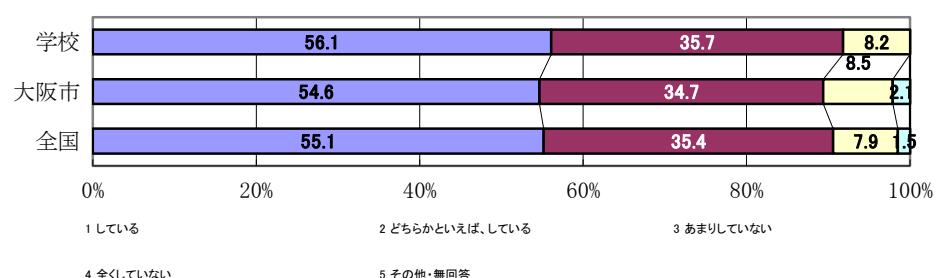
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ている



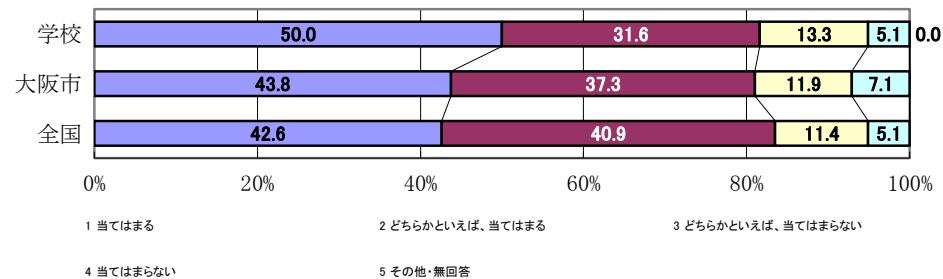
3

毎日、同じくらいの時刻に起きている



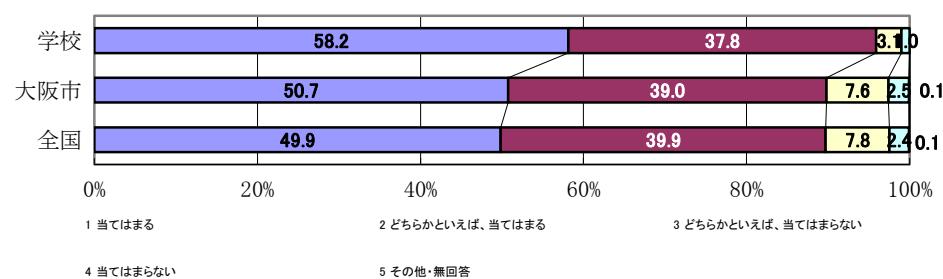
4

自分には、よいところがあると思う



5

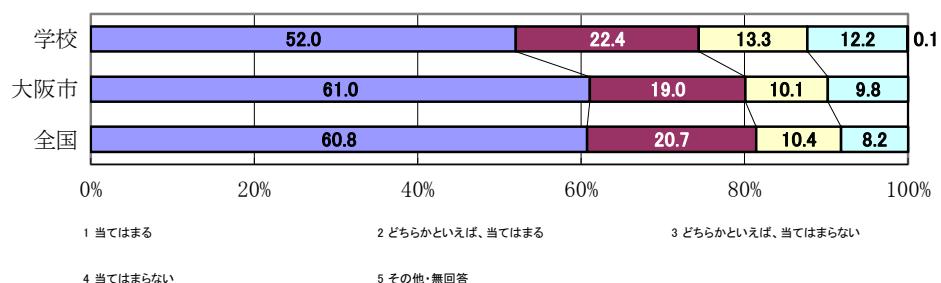
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う



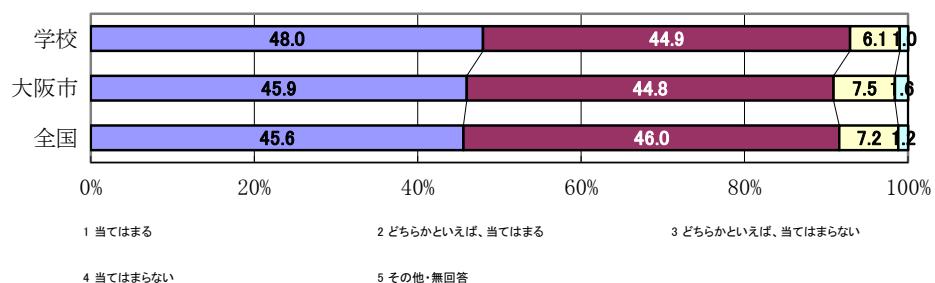
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

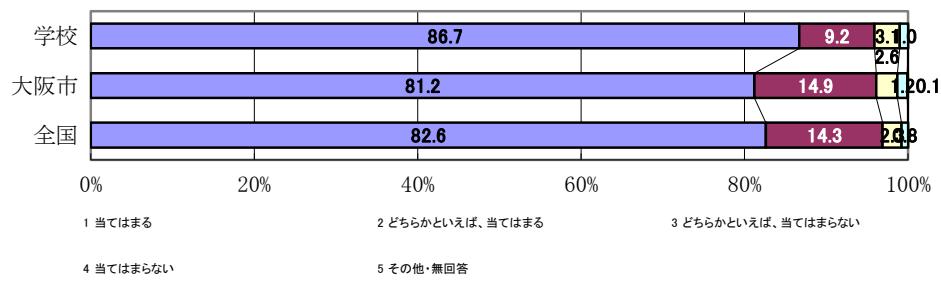
質問番号
質問事項
7
将来の夢や目標を持っている



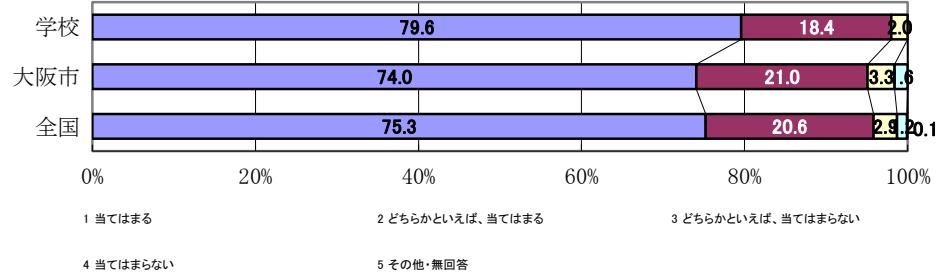
8
人が困っているときは、進んで助けている



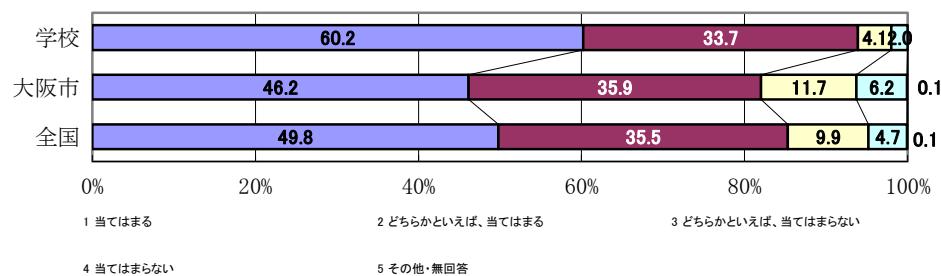
9
いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思う



11
人の役に立つ人間になりたいと思う



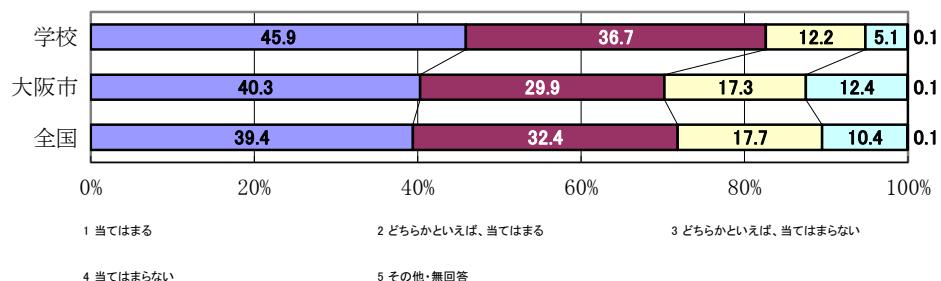
12
学校に行くのは楽しいと思う



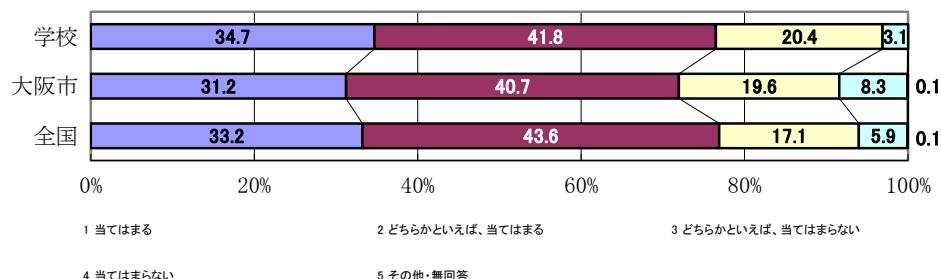
児童質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

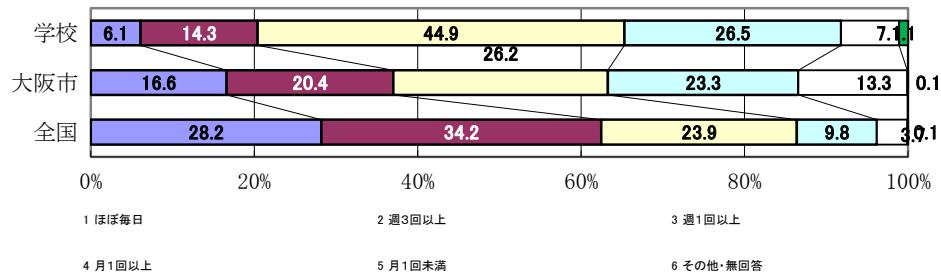
質問番号
質問事項
24
読書は好きですか



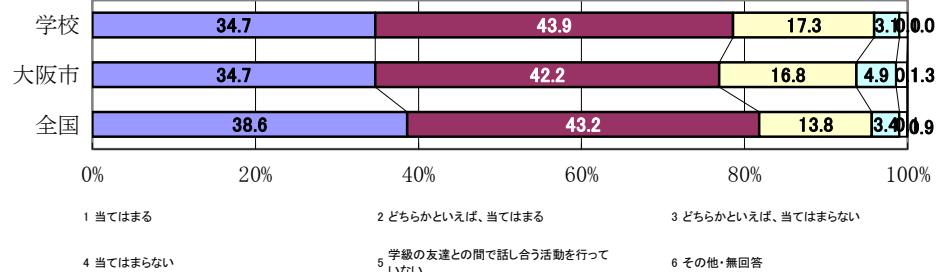
26
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う



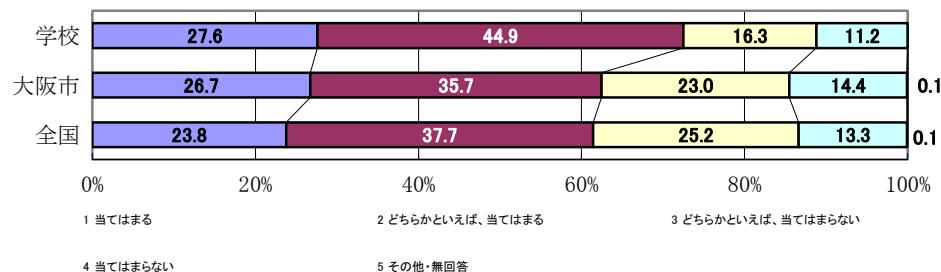
29
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



36
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



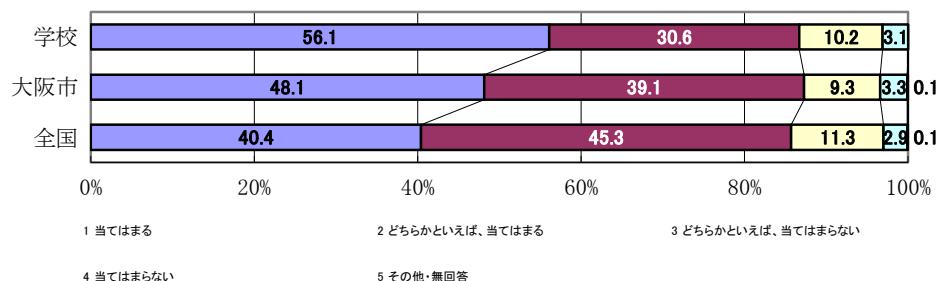
43
国語の勉強は好きだ



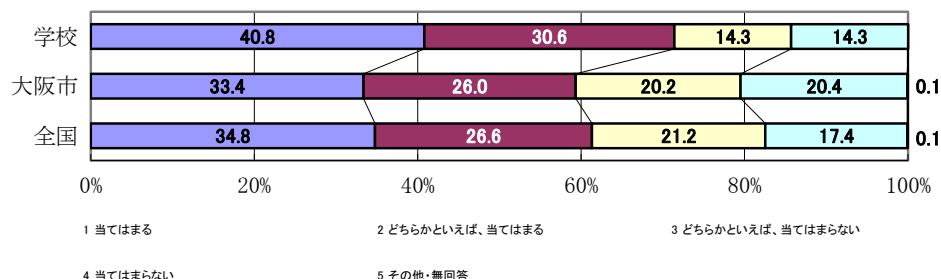
児童質問紙より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

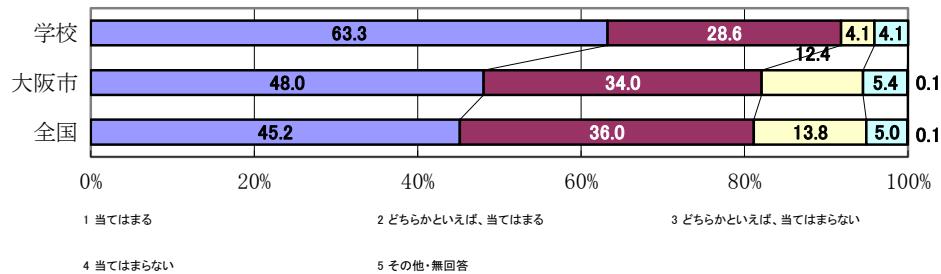
質問番号
質問事項
45
国語の授業の内容はよく分かる



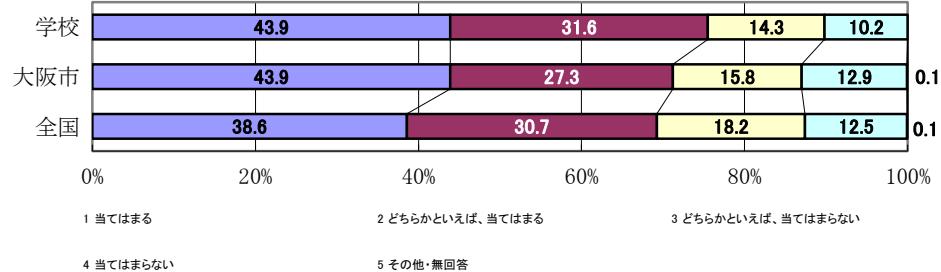
51
算数の勉強は好きだ



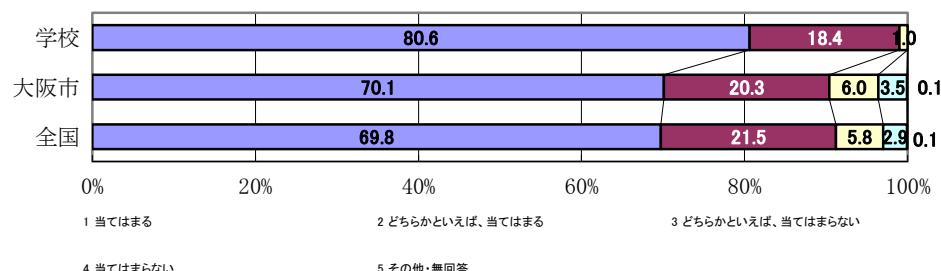
53
算数の授業の内容はよく分かる



55
英語の勉強は好きだ



56
英語の勉強は大切だ



学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

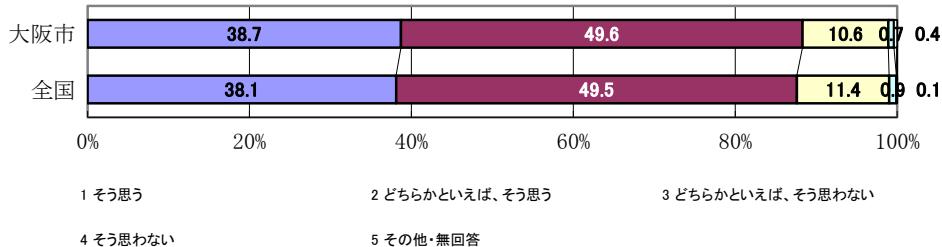
質問番号

質問事項

9

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

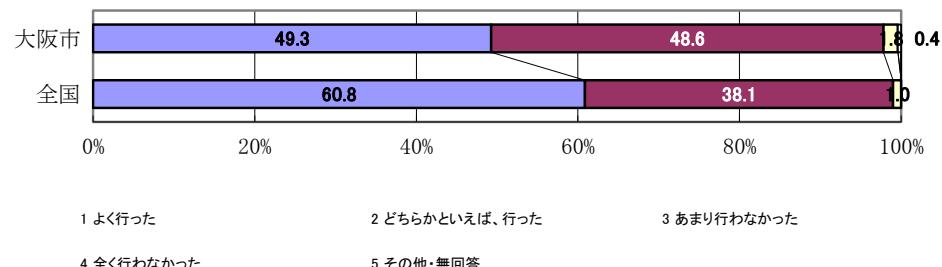
学校 「そう思う」を選択



13

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行った

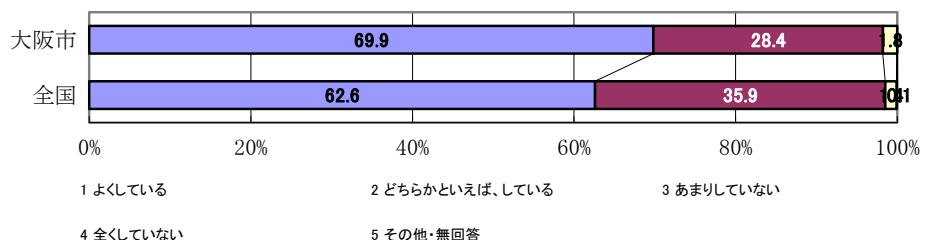
学校 「よく行った」を選択



22

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

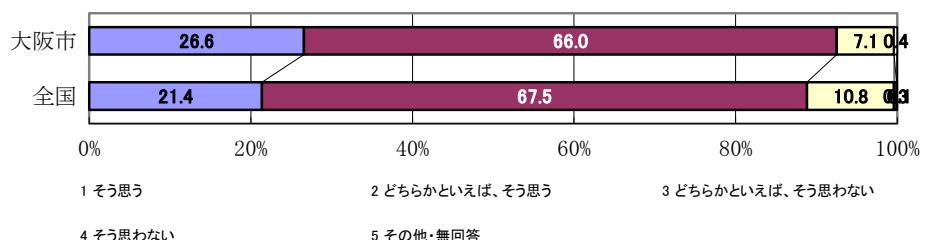
学校 「よくしている」を選択



26

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている

学校 「そう思う」を選択



72

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか

学校 「参加している」を選択

